

5 施設サービスの状況

(1) 要介護状態区別にみた単位数・受給者1人当たり費用額

各施設サービスの1年間の単位数は、介護福祉施設サービスが最も高く、次いで介護保健施設サービス、介護療養施設サービスとなっている。なお、要介護状態区別にみると、介護福祉施設サービスでは「要介護4」「要介護5」の割合が多く、介護保健施設サービスでは「要介護3」「要介護4」の割合が多く、介護療養施設サービスでは「要介護5」の割合が多くなっている。(表12)

また、平成25年4月審査分の施設サービス別受給者1人当たり費用額をみると、いずれの施設サービスも要介護状態区分が高くなるほど費用額も高くなっており、特に介護療養施設サービスではその差が大きい(図9)。

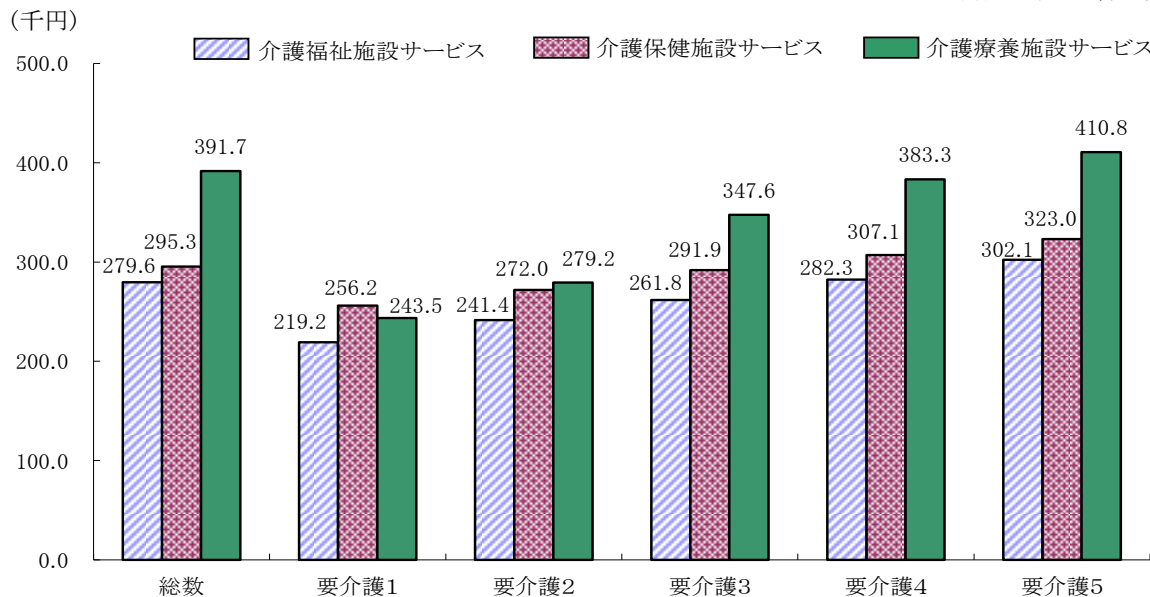
表12 施設サービス別にみた要介護状態区別単位数

平成24年5月審査分～平成25年4月審査分

	介護福祉施設サービス		介護保健施設サービス		介護療養施設サービス	
	単位数 (千単位)	構成割合 (%)	単位数 (千単位)	構成割合 (%)	単位数 (千単位)	構成割合 (%)
総数	153 031 592	100.0	117 660 641	100.0	32 652 642	100.0
要介護1	3 566 176	2.3	9 837 932	8.4	217 260	0.7
要介護2	11 282 937	7.4	19 361 795	16.5	623 192	1.9
要介護3	29 229 375	19.1	28 007 424	23.8	2 201 421	6.7
要介護4	50 554 755	33.0	33 220 532	28.2	9 660 727	29.6
要介護5	58 396 489	38.2	27 232 784	23.1	19 949 998	61.1

図9 要介護状態区別にみた施設サービス別受給者1人当たり費用額

平成25年4月審査分



注：受給者1人当たり費用額 = 費用額 / 受給者数

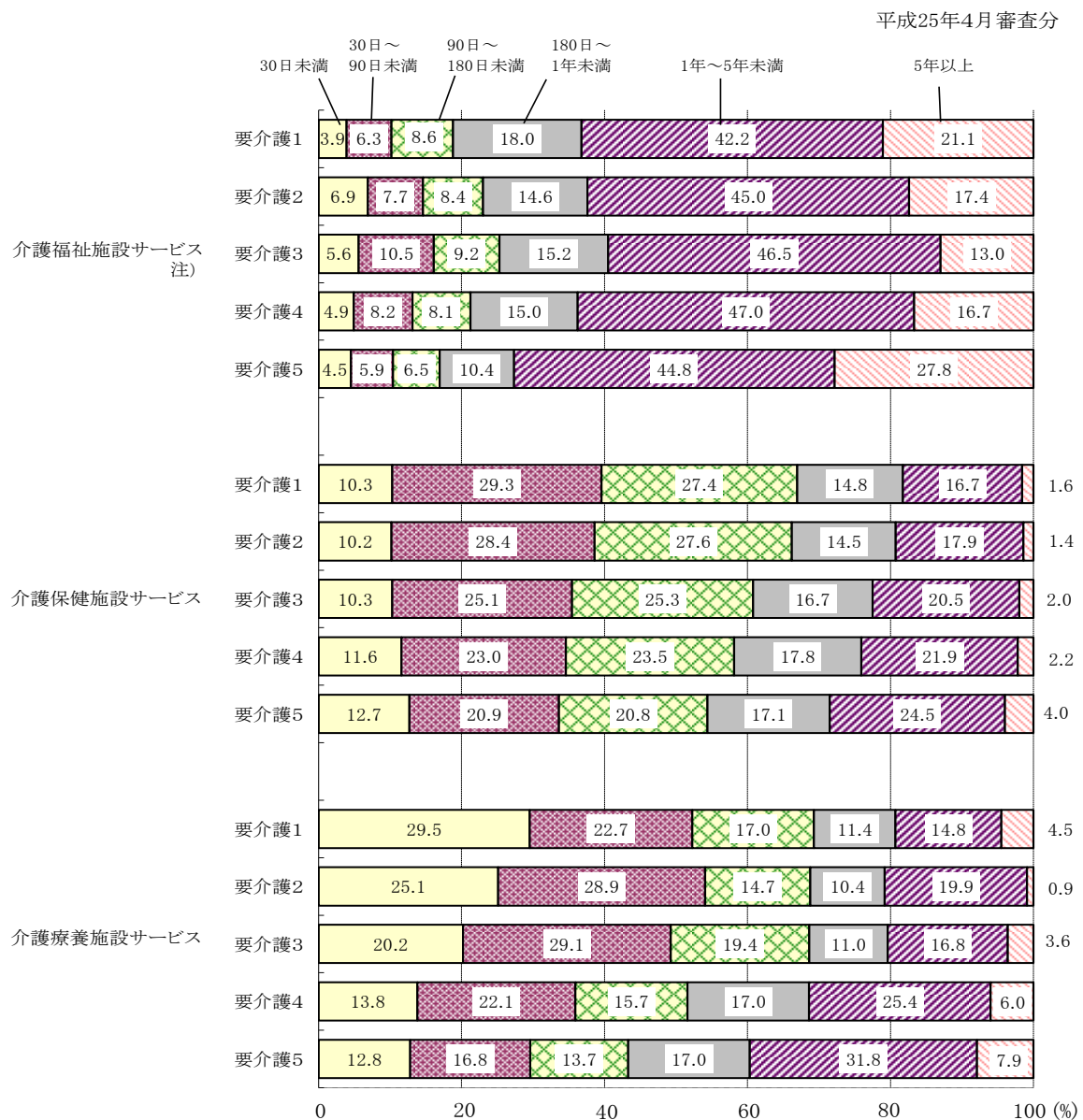
(2) 退所(院)者の入所(院)期間別割合

平成 25 年 3 月中に退所(院)した施設サービス受給者について、要介護状態区別に入所(院)期間の割合をみると、介護福祉施設サービスでは、いずれの要介護状態区分でも 1 年～5 年未満の割合が最も多い。

介護保健施設サービスでは、要介護状態区分が高くなるに従って、1 年以上の割合が多くなっている。

介護療養施設サービスでは、「要介護 1」「要介護 2」では 90 日未満の割合が多く、「要介護 4」「要介護 5」では、1 年～5 年未満の割合が多い。(図 10)

図 10 施設サービス・要介護状態区別にみた退所(院)者の入所(院)期間別構成割合



注：介護福祉施設サービスには、地域密着型介護老人福祉施設サービスを含む。